

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【カンボジア】

担当講師	内山 博雅（公益社団法人日本プラントメンテナンス協会）
実施期間	2019年12月2日（月）～2019年12月6日（金）
実施場所	カンボジア王国・プノンペン市 国立高等技術職業訓練校（NTTI）
研 修	技能評価技法研修（SEM）、技能評価トライアル（SET）
実施職種	電気系保全作業3級

2019年12月

結果概要

1. 対象者数： SEM 受講者数 8 名 / 修了者数 8 名
 SET 評価者数 8 名、 受検者数 9 名 / 合格者 0 名

2. 日程

日時	指導内容
12月2日(月) 8:30~16:30	【技能評価技法研修 (SEM) 1 日目】 ・ 開講式 ・ 5 日間のスケジュール説明 ・ 技能評価者認定の手順・方法の概要 ・ 2018 年の SET の振り返り ・ 「実施要領 (改訂版)」の確認 ・ 「採点基準 (改訂版)」の確認
12月3日(火) 8:30~16:30	【技能評価技法研修 (SEM) 2 日目】 ・ 技能評価者認定チェックシートの説明 ・ 学科試験問題についての意見交換
12月4日(水) 8:30~16:30	【技能評価技法研修 (SEM) 3 日目】 ・ トライアル 1 日目のチーフ指名、役割分担決定 ・ 機材整備、課題作成、不良の設定 ・ 会場及び資材、備品の準備
12月5日(木) 8:30~16:30	【技能評価トライアル (SET) 1 日目】 学科試験：9：05 (8 人 ※1 名遅刻にて欠席扱い) 採点作業 開始時刻：13：50 実技試験 (1 回目：5 人) 課題 1 開始時間：10：30 (標準 50 分、打ち切り 60 分) 課題 2 開始時間：12：30 (標準 30 分、打ち切り 50 分) 採点作業 開始時刻：14：10 ・ 反省と改善事項の検討 ・ トライアル 2 日目のチーフ指名、役割分担決定
12月6日(金) 8:30~16:30	【技能評価トライアル (SET) 2 日目】 実技試験 (2 回目：4 人) 課題 1 開始時間：9：00 (標準 50 分、打ち切り 60 分) 課題 2 開始時間：10：35 (標準 30 分、打ち切り 50 分) 採点作業 開始時刻：12：40 ・ 機材等の片づけ及び総括

3. 講評

カンボジア国における機械保全職種・電気系保全作業3級「技能評価技法講習(SEM)」は、「技能評価者講習(SAT)」において概略を理解している方が対象であることから、講師が一方向的に進めるのではなく、実績を踏まえ改訂した「運営要領」「採点基準」と受講者各自の知見を元に、「自ら考える」場を設けながら進めた。また、疑問点などについては、まずは全員で討議することとし、相互研鑽でレベルアップを図った。

トライアルの受検者は9名で、学科試験合格者は5名であったが実技試験の合格者は残念ながらいなかった。作業の様子から、回路図の作成、配線作業については一定の技能があるが、不良個所の発見・修復については、経験不足と思われる手順が見受けられた。また、通電したままの配線作業等、安全面での配慮不足も散見され、この点は普段の教育でも徹底して欲しいと受講者をお願いした。

SEM 受講者の参画意識は大変高く、討議が活発に行われ、改善提案も多く、自発的な行動も数多く見られ、良いチームワークのもと、問題なく進行することができた。次回は技能評価者認定となるが、一人でも多くの方が要件を満たすことを期待する。

4. 受講者へのアンケート結果

<SEM>

◆受講者8名(回答者8名)

満足度：大変満足	=8人	満足	=0人	どちらともいえない	=0人
役立ち度：大変役立つ	=8人	役立つ	=0人	どちらともいえない	=0人
継続期待度：是非とも継続すべき	=8人	継続すべき	=0人	どちらともいえない	=0人

【有意義な内容・項目は何だったか?】

- ・評価者育成と評価者の作業役割分担
- ・役割分担、課題作成、採点法、減点法
- ・運営管理、時間行動等の改善方法に関して
- ・配線技術、不良線と不良備品の作成
- ・課題準備、検定全般の準備、運営管理、役割分担
- ・素晴らしい研修内容だった。すべて重要なものだった。
- ・検定の流程と準備
- ・先生からのアドバイス、検定中のアドバイス、行動基準

【改善点・提案】

- ・クメール語の精度を上げて欲しい。
- ・より分かりやすい課題の作成を希望する。
- ・来年も研修を受けたい。
- ・2級、1級と今後も継続して欲しい。
- ・次回は今回と異なる課題にして欲しい。
- ・リレー・タイマーの不良の検出方法を知りたい。

【意見・感想・実施希望】

- ・電気系保全1, 2級の学科・実技の訓練を望む。
- ・モータ制御保全(2人)
- ・制御盤組立て、課題の作成

- ・PLC+HMI+VFD, SCADA システム
- ・私たちにとって大変役立つ内容であり、今後も継続して欲しい。

◆現地責任者

継続期待度：是非とも継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・特になし

【意見・感想・実施希望】

- ・電気系保全 1, 2 級においても学科・実技の課題作成をしたい。

<SET>

◆評価者 8 名 (回答者 8 名)

満足度：大変満足	=8人	満足	=0人	どちらともいえない=0人
役立ち度：大変役立つ	=8人	役立つ	=0人	どちらともいえない=0人
向上度：大変向上した	=6人	向上した	=2人	どちらともいえない=0人
継続期待度：是非とも継続すべき	=8人	継続すべき	=0人	どちらともいえない=0人

【改善点・提案】

- ・学校 (NTTI) のシラバスに沿った課題の作成。
- ・学科の課題をもっとわかりやすく表現して欲しい。
- ・今年の反省を活かして来年につなげたい。
- ・来年も継続して欲しい。
- ・検定会場の掲示案内を明確にして欲しい。

【意見・感想・実施希望】

- ・学科課題及び実技課題作成において各級に適した内容にして欲しい。
- ・モータ制御保全に関わりたい。(2人)
- ・更に 1, 2 級の研修をして欲しい。
- ・電気に関わる他の職種にもトライしたい。
- ・配電盤・制御盤、電気系保全の 1, 2 級 (2人)

◆受検者 9 名 (回答者 9 名)

満足度：大変満足	=6人	満足	=2人	どちらともいえない=1人
役立ち度：大変役立つ	=5人	役立つ	=4人	どちらともいえない=0人
継続期待度：是非とも継続すべき	=5人	継続すべき	=3人	どちらともいえない=1人

【改善点・提案】

- ・もっと練習が必要。
- ・受検者が持つべき能力を示して欲しい。これまで電気系保全を学んだことがない。
- ・教材の支援をして欲しい。
- ・学科試験の経験がないので、試験を受ける前に研修を受けるべきだった。
- ・配線図作成とケーブル接続にかけられる時間が少々短かった。
- ・この研修を継続して欲しい。

【意見・感想・実施希望】

- ・アップグレードレベル
- ・配電盤・制御盤
- ・来年もこの職種の研修をして欲しい。
- ・機会があれば、またこのような研修に参加したい。

◆現地責任者

継続期待度：是非とも継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・来年も是非継続して欲しい。

【意見・感想・実施希望】

- ・メカトロニクスを教えたい（教えてほしい）。